

不如意ノ故ヲ以テ遂ニ休業スル旨發表シタルコトハ
既教ノ通りナルカ其ノ後從業員側ニ於テハ之カ對
策ニ付寄々協議ヲ凝シ居タルカ本月十四日ニ至リ
現攝津毛織工業所ノ前身タル羊毛紡織會
社(内容同)ニテテ單ニ攝津毛織ヲ鞭撻スヘク
附加ス)並攝津工業所ニ對シ別紙ノ如キ嘆願書
ヲ提出シ之カ回答期日ヲ本月十九日迄ト要望セルヲ
以テ之ニ對スル會社ノ回答如何ニ依リテハ或ハ事
態ヲ紛糾セルニ至ルヤモ難計
右友申(通)教矣也

別紙

歎死是

多模由生歎工業所が本年十月廿一日迄ハ洋先所獲
棉収念能あり一ノ米引建以米収々従業員は減意
各此の以て致し来一以担其甚效盛切らすノ月々
産めざる好成績を修め吾々従業員とシテ東心
欣希と堪くすわの一層努力を以て吾等ノ隆進を求
成モ期待致シ是ノ如クハ敢て三年先念社創業者
時ノ好没は俄然吾等界ノ動搖と爲リ漸次不況に
陥ル年ヲ逐ふに徒々其意を加へ方めに吾々従業
員對する待遇を左等以下の存業會社の従業員より
りの違ひに下位にありわの茲三年來は世景其苦
其に加ふるに物價の膨張は吾等の生活状態をも益